

第十二節 ホームラン三六型受信機

協電社 技術部

①
クリスタル
検波器
|| 磁石
検波器

(イ) 本機の説明 本受信機は圖に示す如く、二二六―二二七B―二四七Bを全部増幅に用ひ、クリスタルに依り檢波し、其の内二二七Bは、高周波及び低周波の二重増幅をなさしめた所謂リフレックス方式を、新しいペン

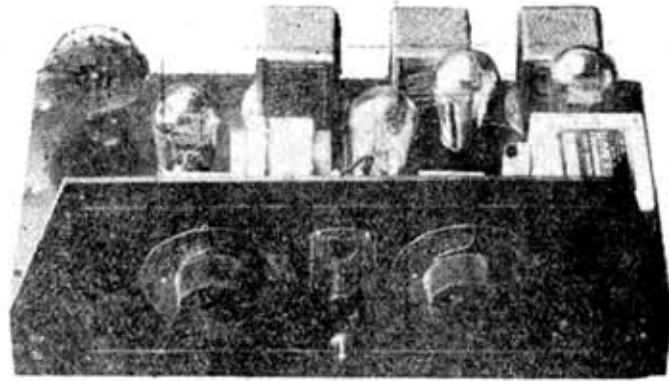


第一圖

の周到なる配置配線に依り、三極管としては意外な程の増幅率を有して居ます。それに静電容量再生を二二七B回路に應用して、次の檢波能力の低いクリスタル檢波回路の弱點を充分補つて居ります。

トードに組合せたものであります。球數の少いにもかゝはらず、感度と選波力に優れて居り、クリスタル檢波に依る優れた音質と、ペントードに依る豊富な音量を有し、且つリフレックス回路も並列式を應用したものですからリフレックス受信機としては代表的なものであります。第一圖は本機の外觀で、第二圖は内部構成圖、第三圖は接續圖であります。先づ高周波部分には第一段目には二二六が使用してあります。是は二三

次に檢波部でありますが、此處ではクリスタル檢波器として、古河電氣のフォックストンを使用しております。二二七Bの出力回路との結合は、〇・〇〇ニマイカドンに依り、非同調高周波變壓器の中間に結び、其の一端をクリスタルに接続し、他端は低周波トランスの一次線のB記號部と、二次線のF記號部と共に接地回路に接が



第二圖

て、リフレックスされて、二二七Bより来る低周波電流を、此の回路には、全然通らないやうに設計しました。是に依つてピツクアップを用ひて、蓄音器擴大をなす場合に於ける音質の悪化を除去して居ります。

最後に低周波部ですが、此の部分は最終球として、小型ペントード二四七Bを用ひました。低周波も二段増幅に成つて居ります。一段目は特殊に設計された變壓器に依つて、前に高周波二段目の増幅をした二二七Bに結合されて居ります。この電圧はペントードが充分働するやうに低周波電圧を高めたものであります。ペントードとの結合は、イムビーダンスとレヂスタンスを用ひました。二二七Bのプレート電圧の降下を防ぐため、プレート回路にイムビーダンスを挿入してあり、二四七Bのグリッド回路には、二五萬オームのレヂスタンスを採用しましたから、二四七Bは、最高働作點で働いて居ります。蓄音器の擴大は、低周波一段目のトランスホーマーの二次線のGF間にピツクアップを入れるやうにしました。ピツクアップに誘起された音聲電流は、高周波チヨークを通して、二二七Bに加へられてイムビーダンスとレヂスタンス結合に依り、二四七Bに送られて居るので、此の場合は低周波一段に成る譯でありますが、二二七Bは擴大球として働いて居るのでペントードを充分負荷

